

## メイヨークリニック研修に参加した方々からのレター

### メイヨークリニック体験記

國江慶子

(公益社団法人 地域医療振興協会 東京ベイ・浦安市川医療センター)

#### 1 自己紹介

現在は業務や運用の整備を担当しています。

#### 2 なぜ木村財団のメイヨークリニック研修に行こうと思ったか

メイヨークリニック研修に行きたいと思った理由：

看護大学の在学中も病院勤務後も、質の高い病院として Mayo Clinic の名前を聞く機会が多く、患者からも職員からも選ばれる病院、他国の医療職者が素晴らしいと思う病院がどのような病院なのか、また質が高いとはどのようなことなのかに関心がありました。聞く話読む話ではなく、自分の目で見て、体感したかったため応募しました。

木村財団の研修に行こうと思った理由：

研修先がメイヨークリニックであったことと、木村財団が長く積み重ねてきたメイヨークリニックとの関係性の中で研修できることの誇りと意義を感じたためです。

#### 3 メイヨークリニック研修で学んだこと

##### (1) メイヨークリニックでのある日の研修状況

7時30分～11時45分

手術当日入院患者の術前ケアを行うユニットで、研修担当看護師（ナースパートナー）が行う実際の患者ケアを見学させて頂きました。リクライニングチェアがおかれた個室で、問診や手術準備、オリエンテーションなどが行われます。日常生活動作の評価とともに転倒リスクも評価され、術後の動作や入院中の転倒予防の指導、また退院後の生活や転倒予防の説明が行われていました。手術前の慌ただしい時間の中で、問診で得た情報を生かし、術前から退院後の生活までを視野にいれ、丁寧に患者に説明・教育を行っていることが印象的でした。

##### (2) メイヨークリニックで学んだこと

選ばれる病院であるために、「伝統を大切にしながら、常に革新し続ける文化」と、「患者中心の“best care”を提供する使命の共有」が大切であることを学びました。

(3) メイヨークリニックでの研修期間中、休日は何をしていたか

ホームステイ、ミシシッピ川やアーミッシュの街へのツアー、お買い物に行きリフレッシュしました。またしっかり休養もとりました。

#### 4 メイヨークリニックから帰って自分の中で変わったことや所属医療機関への還元

メイヨークリニックで学んだ取り組みを職場で話すようにしています。その一つとして、患者に対する丁寧な説明や教育の様子について伝えました。情報提供や説明にかける時間を増やすことが難しくても、質を高めることはできると思い、同僚と一緒に考えるようにしています。資源豊かな Mayo Clinic での実践や活動は、日本では同じようにはできないこともあります、「できない」ではなく、置かれた環境でどの範囲なら実現可能か、本当に出来ないのか、どうしたらできることが広がるのかを考えることが大切だと思い、できる可能性と実現方法を柔軟に考えるようになりました。この発想の転換は Mayo 研修で得た大きな変化だと感じます。

#### 5 英語力をつけるためにどのように勉強したか

リーディングブックを聞きましたが、もともと英語が苦手なため、十分ではなく、研修中もっと英語ができれば・・・と毎日思っていました。特に、自分の考えや感じたことを伝えられることが、インターラクティブで発展的な学びに重要と感じました。

#### 6 メイヨークリニック研修への準備と心構え

準備)

自分のことを説明できるようにしておくこと。(今まで何をして、今何をしていて、何に関心があるのか。どこに住み、どんな地域なのか。仕事とプライベートをどう過ごしているのか、など)

何を学びたいのかを明確にしておくこと。

日本での仕事の調整を早期からに行うこと(心置きなく研修するために重要でした)

心構え)

得られた経験1つ1つを日々実感しながら過ごすと素晴らしい研修になると思います。

楽しいこともたくさん、うまくいかないことも時々ありますが、全てが素晴らしい経験であり思い出です。私が研修中支えられたのは、

- ・自分の肌で感じたかったメイヨークリニックにいたることができる幸せ
- ・自分が学びたいことが直接得られないとき、間接的な方法や次の関心から新しい学びにつなげる気持ち

- 研修生同士の情報と感情の共有
- サポート的なメイヨの研修担当者でした。